

# 知行合一

学校教育目標

潤いと輝きにあふれる学校

芦北町立田浦中学校  
学校だより 第2号  
平成31年4月19日  
文責 校長 畑口益喜

いにしへの 奈良の都の 八重桜 けふ九重に 匂ひぬるかな  
伊勢大輔 (百人一首 61)

## 『田浦中PRIDE』生徒会本年度スローガン決定

執行部から10日の生徒朝会で、生徒会スローガン3案『田浦中PRIDE』、『澆瀨・友愛～一人一人に輝きを～』、『TUR76～Try Up Revolution』が提示されました。いずれもよく練り込まれていて、新執行部の意気込みを感じました。

そして12日の全校生徒による採決の結果、生徒会スローガンは、『田浦中PRIDE (P: ポジティブ・R: 礼儀・I: あいさつ・D: 団結・E: 笑顔)』に決定しました。

このスローガンは「潤いと輝きにあふれる学校」を生徒会執行部なりに解釈し、学校や地域に誇りをもって活動して欲しいという願いが込められています。

# 田浦中PRIDE

P: ポジティブ R: 礼儀

I: あいさつ D: 団結 E: 笑顔

## 小中合同歓迎遠足 仲良く御立岬公園へ



4/12(金)、小中合同歓迎遠足を行いました。小学校で簡単な開会行事を行った後、小中学生がペアとなり、御立岬公園へ出発しました。小学生は替え歌、言葉のゲームなど元気に声を出しながら歩いていました。お腹がすいたと言う声もあちこちから聞こえました。

会場では中学校の生徒会主催のレクリエーションを行いました。「しっぽ取り」と「じゃんけん列車」を小・中ペアで行いましたが、小学生に引っ張られる中学生もたくさんいました。

合同遠足も今回で3回目、生徒会執行部のメンバーも企画運営のノウハウが随分蓄積されてきました。生徒・児童がニコニコして活動する姿を見て、メンバーもニコニコしていました。

今年、執行部に求めるのは『無限大の発想で、感動と笑顔を広げる生徒会活動』人に喜びを与えると、必ず自分に返ってきます。両校の絆が強まった遠足でした。

## 体育大会の練習始まる！ 大会は5月19日(日)！

体育大会に向けての練習が始まりました。今年から赤団(旧田浦小校区・旧井牟田小校区・旧大岩小学校区)と青団(旧小田浦小校区・旧海浦小校区)に分けました。これは

- ①毎年同じ団に所属することができるため連続優勝に重みが出る。
- ②兄弟姉妹が同じ団になり、家族や地域での応援が盛り上がる。
- ③地域の先輩が後輩を指導するため、縦のつながりが出る。
- ④次の年度に向けて、早くから取り組むことができる。

ことなどをねらいとしたものです。当日は、ぜひご近所にもお声掛けの上ご来校ください。

## 【秘密の部屋】平成も残すところ10日余りとなりました。

### 【鉄腕アトム誕生日】310407

公式設定では、2003年4月7日は『鉄腕アトム』の誕生日です。1977年、私が小学校高学年の頃、現実が追いつくのは困難だと思ったのでしょうか。アトムのリニューアルとも言える『ジェッターマルス』が2015年生まれの設定で始まりました。

以前、「子どもの頃に見た雑誌の未来予想図では、今頃は空を飛ぶ自動車があったり、空中に透明のパイプが張り巡らされ、その中を乗り物が走ったり、ピッタピタの宇宙人のような服を着ていたはずなのですが…」と書きましたが、2019年になった今でもあの世界観は実現していません。

聞き慣れた話ですが、「子どもたちの65%は将来、今は存在していない職業に就く」や、「今後10年～20年程度で、半数近くの仕事が自動化される可能性が高い」などの予測がされています。2045年には、人工知能が人類を超える（シンギュラリティ）という指摘もあります。

ターミネーターは2029年から1984年にやって来ているはずで、これは間に合わなくて良かったですね。(H)

### 【もったいなか】310411

朝8時半、水俣市総合医療センターに到着。自慢ではないが2月末の人間ドックで再検査のハガキをもらった。いつも母から人間ドックの結果を聞かれるが、返事は「別に。」と決めている。親思う心の現れである。

3月末に再検査を受け、今日はその結果が分かる日だ。診察室に入る。常に余裕ある表情は変えない。結果は、大きな心配は無し。「よっ！」と安心するが、さも当然と言う表情で、医師には気取られないように心がける。

お酒は通常飲まない。タバコも吸わない。改善策は「痩せること」聞き慣れた言葉が返ってくる。「身長が184cmなので適正な体重まで10kgくらい減らすとかなり改善できるはずで。」それも知っている。知ってはいるが…。学校で2位なので安心している。

昔、私たち兄弟が、母に「痩せれば」と言うと笑いながら必ずこう答えていた。「せっかく肥えたのに、もったいなか。」親の言いつけは守らなければ。(H)

### 【信頼と信用】310414

今日の授業参観では、どの学級も大きな課題である『スマホやパソコン、ゲーム機などの情報端末の使用に関する家庭のルールづくり』をしました。

本校でもオンラインゲームを遅くまでやっている生徒の話も聞きます。過去5年間の生徒指導の内容を振り返ると、ほぼすべての事案はSNSが発端になっています。

昨年度、バイトテロと称される不適切な動画による事件が相次いで報道されましたが、彼らは、自分たちの動画を全世界に向けて発信しているという意識はないはずで、仲間内だけの悪ふざけが、他者によって全世界に発信され、自分のみならず家族まで特定され全世界にさらされる。就職の際に、過去にアップした発言や画像がすべて調べられる。本人は匿名のつもりでも、どの手段よりも確実に本人が特定できるのがネットの特性です。

SNSで知り合った人に実際会ったことがある人の割合は29%。約3人に1人ですから、自分の子どもは関係ないというレベルではありません。わが子も巻き込む、巻き込まれる可能性があるかと疑ってかかることが、子どもの安全を担保することになります。

買い与えた者として、責任と覚悟は必要です。自動車はそれぞれが好き勝手に運転すると事故につながります。人の命を奪うこともあります。だからルールがあり免許が必要です。SNSも命を奪うことにつながる場合があります。免許にあたるのは家庭でのルールです。

免許を取って安全運転をしても事故は発生します。誤解がないように聞いていただきたいのですが、SNSに関しては子どもを「信頼」はしても「信用」はしないことが大事です。それが、子どもの命を守るにつながります。(H)